

2017年1月11日
株式会社パスコ

(おしらせ)

特車通行許可の迅速化に向けた 「車両搭載センシング技術を活用した道路基盤地図データの収集実験」に参加

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：古川顕一）は国土交通省国土技術政策総合研究所が実施する「車両搭載センシング技術を活用した道路基盤地図データの収集実験」に参加します。この実験は国土交通省生産性革命プロジェクトの一環で、特大トラック輸送の機動性強化を図るため、電子データを活用した自動審査システムを強化し、特車通行許可業務の効率化と迅速化を目指すために実施されるものです。

特大トラック輸送では、事前に道路管理者から特車通行許可を受ける必要があり、近年の車両の大型化も伴いトラック事業者からの申請件数が増加し、これに比例するように審査日数も増加しています。審査日数の増加は機動的な輸送計画の立案に支障が出ることから、審査業務の効率化・迅速化は申請・審査双方の課題となっています。

本実験では2020年までに平均審査日数を、現在の約1ヶ月から10日間程度への短縮を目指し、審査システムに不可欠な道路情報を高精度且つ効率よく整備するために、道路管理用車両に搭載して道路基盤地図データを収集するセンシング技術について実験が行われます。

なお国土交通省では、今後収集するデータについて、自動運転の道路基盤地図への活用も検討される予定です。

パスコは本実験において、高精度3次元地図の取得技術と自動走行に必要なダイナミックマップの構築技術をもって本実験に参加します。

(参考：国土交通省ホームページ)

車両搭載センシング技術を活用した道路基盤地図データの収集実験の開始について
http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000792.html

【実験の概要】

- ① 国土技術政策総合研究所試験走路での走行実験
実験期間：2017年1月10日（火）～13日（金）
- ② 公道での走行実験
実験期間：2017年1月16日（月）～19日（木）

※ 詳細は、国土交通省のホームページにてご確認ください

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ 広報部 TEL：03-3715-1048